



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月11日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ツムラ
 コード番号 4540 URL <https://www.tsumura.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 加藤 照和
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレート・コミュニケーション室長 (氏名) 犬飼 律子 (TEL) 03-6361-7100
 定時株主総会開催予定日 2021年6月29日 配当支払開始予定日 2021年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	130,883	6.2	19,382	2.7	20,866	6.2	15,332	11.4
2020年3月期	123,248	1.9	18,876	1.9	19,649	△0.3	13,765	△5.7

(注) 包括利益 2021年3月期 17,381百万円 (106.5%) 2020年3月期 8,415百万円 (△35.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	200.40	—	7.2	6.6	14.8
2020年3月期	179.96	—	6.8	6.6	15.3

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 115百万円 2020年3月期 96百万円

(注) 2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	319,063	233,169	68.3	2,846.58
2020年3月期	311,990	213,997	65.8	2,684.38

(参考) 自己資本 2021年3月期 217,786百万円 2020年3月期 205,377百万円

(注) 2021年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2020年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	16,102	△7,352	△10,425	59,668
2020年3月期	18,191	△23,488	7,111	57,692

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,896	35.6	2.4
2021年3月期	—	32.00	—	32.00	64.00	4,896	31.9	2.3
2022年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		34.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	59,400	—	8,700	—	9,000	—	6,900	—	90.19
通期	122,500	—	19,500	—	20,000	—	14,200	—	185.60

（注）2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっており、対前期及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

なお、2021年3月期に当該会計基準等を適用したと仮定して算定した増減率は、以下のとおりであります。

第2四半期（累計）：売上高 4.3%増、営業利益 21.8%減、経常利益 19.0%減、
親会社株主に帰属する当期純利益 14.6%減
通期：売上高 5.2%増、営業利益 0.6%増、経常利益 4.2%減、
親会社株主に帰属する当期純利益 7.4%減

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（注）特定子会社の異動には該当しておりませんが、当連結会計年度において、津村盛実製薬有限公司（2021年4月より天津津村製薬有限公司に社名変更）は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	76,758,362株	2020年3月期	76,758,362株
② 期末自己株式数	2021年3月期	250,402株	2020年3月期	250,049株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	76,508,174株	2020年3月期	76,488,918株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	12
(企業結合等関係)	12
(セグメント情報)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の制限を受ける等、依然として厳しい状況となりました。

このような状況下、当連結会計年度の売上高は、前連結会計年度と比べ、6.2%増加の130,883百万円となりました。

利益につきましては、営業利益19,382百万円（前連結会計年度比2.7%増）、経常利益20,866百万円（前連結会計年度比6.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益15,332百万円（前連結会計年度比11.4%増）となりました。

売上原価率は、薬価改定による上昇分を生薬価格の低減により吸収しました。一方で、当連結会計年度から損益計算書を連結している平安津村薬業有限公司（旧 天津盛実百草科技有限公司）の現在の主力品目である「原料生薬」においては、「製剤」や「飲片」とは異なりコストに占める原価の比率が高いこと等から前連結会計年度に比べ1.5ポイント上昇しました。また、販管費率は、活動の変化に伴う経費の減少等により、1.1ポイント低下し、これらの結果として、営業利益率は前連結会計年度に比べ0.5ポイント低下し、14.8%となりました。

[連結業績]

(単位：百万円)

	前期 (2020年3月期)	当期 (2021年3月期)	対前期増減額 (増減率)
売上高	123,248	130,883	7,635 (6.2%)
国内	—	124,516	—
海外	—	6,367	—
営業利益	18,876	19,382	505 (2.7%)
経常利益	19,649	20,866	1,216 (6.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	13,765	15,332	1,567 (11.4%)

(注) 前期は海外売上高が僅少なため記載をしておりません。当期より平安津村薬業有限公司の売上高が計上されたことから、売上高を国内と海外に分けて記載しております。

国内の売上高は、124,516百万円となりました。そのうち、医療用漢方製剤129処方の売上高は、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控え等の影響を受けながらも、前期比で1.1%増加しました。処方別では、感染予防対策の励行による上気道炎等の感染症が減少し、風邪関連処方が大きく落ち込むも、生活環境の変化により、精神疾患や皮膚疾患等の処方が増長しました。主力品目である育薬処方※1では大建中湯が、前連結会計年度に比べ0.4%増加しました。Growing処方※2では、補中益気湯、加味逍遙散、五苓散が好調に推移しました。

営業活動につきましては、訪問型情報提供活動に加え、e-プロモーションを拡充させるとともに、医療関係者の要請に応じた情報提供活動を推進してまいります。

海外の売上高は、前連結会計年度末より連結した平安津村薬業有限公司の売上高が、当連結会計年度より計上されることで大きく寄与し、6,367百万円となりました。原料生薬と飲片（刻み生薬）の販売を中心に、平安津村薬業有限公司、深圳津村薬業有限公司による生薬プラットフォームの機能を強化し、事業の拡大を図ってまいります。

長期経営ビジョン2021の実現に向け、中期経営計画の5つの戦略課題である「漢方市場の持続的拡大とプレゼンスの確立」「中国における成長投資と事業基盤の構築」「新技術を活用した生産性の向上」「理念経営による企業文化の醸成と多様な人材の開発」「漢方バリューチェーンを通じたSDGsの推進」に引き続き取り組んでまいります。

※1 育薬処方：

近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療で難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンス（科学的根拠）を確立する処方

※2 Growing処方：

育薬処方に続く戦略処方として、治療満足度や薬剤貢献度の低い領域でのエビデンス構築（安全性・有効性データ等）により診療ガイドライン掲載を目指す処方

[新型コロナウイルス感染症への取り組み及び業績への影響について]

新型コロナウイルス感染症への対応として、当社は年間を通し従業員及び事業関係者への感染防止対策を徹底するとともに、製薬企業の使命である製品の安定供給に取り組んでまいりました。国内及び海外ともに製品供給への影響は出ておりません。

当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症の業績への影響については、訪問型情報提供活動の制限や研究開発の遅延等、一部事業活動への影響を受け、第3四半期決算において、売上高の下方修正及び活動変化に伴う経費の減少等による利益の上方修正を行いました。

不透明な事業環境が続きますが、引き続き状況の変化を注視するとともに、感染防止対策と製品の安定供給に取り組んでまいります。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における財政状態は以下のとおりであります。

当連結会計年度末における資産合計は319,063百万円で、前連結会計年度末に比べて7,073百万円の増加となりました。流動資産は、現金及び預金が減少した一方で、たな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べて7,300百万円の増加となりました。固定資産は、機械装置及び運搬具が増加した一方で、当期より津村盛実製薬有限公司を新規連結したこと等に伴う投資その他の資産におけるその他の減少等により、前連結会計年度末に比べて227百万円の減少となりました。

負債合計は85,894百万円で、前連結会計年度末に比べて12,098百万円の減少となりました。流動負債は、長期借入金からの振替により1年内返済予定の長期借入金が増加した一方で、短期借入金の減少等により、前連結会計年度末に比べ95百万円の減少となりました。固定負債は、長期借入金の流動負債への振替等により、前連結会計年度末に比べて12,003百万円の減少となりました。

純資産合計は233,169百万円で、前連結会計年度末に比べて19,171百万円の増加となりました。株主資本は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べて10,124百万円の増加となりました。その他の包括利益累計額は、繰延ヘッジ損益の増加等により、前連結会計年度末に比べて2,283百万円の増加となりました。また、非支配株主持分は、前連結会計年度末に比べて6,763百万円の増加となりました。

以上の結果、自己資本比率は2.5ポイント増加して、68.3%となりました。

なお、2020年3月30日に行われた天津盛実百草中薬科技有限公司(2020年8月より平安津村製薬有限公司に社名変更)及びその子会社5社との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

当連結会計年度末は、営業活動によるキャッシュ・フローが16,102百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが7,352百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが10,425百万円の支出となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、16,102百万円の収入となりました。主な内訳は、収入項目では税金等調整前当期純利益20,456百万円、支出項目では法人税等の支払額5,775百万円であります。前連結会計年度との比較では、2,088百万円収入が減少しております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、7,352百万円の支出となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出8,949百万円であります。前連結会計年度との比較では16,136百万円支出が減少しております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、10,425百万円の支出となりました。主な内訳は、短期借入金の返済による支出14,086百万円であります。前連結会計年度との比較では、17,537百万円支出が増加しております。

その結果、現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて1,543百万円減少し、新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額3,519百万円と合わせ、59,668百万円となりました。

(4) 今後の見通し

2022年3月期の業績予想につきましては、売上高は国内医療用漢方製剤ならびに中国事業の伸長傾向をふまえ122,500百万円を見込んでおります。このうち海外事業売上高は8,800百万円の見込みであります。利益につきましては、営業利益19,500百万円(0.6%増)、経常利益20,000百万円(4.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益14,200百万円(7.4%減)を見込んでおります。

国内においては訪問型情報提供活動に加え、昨年度より整備を進めていますe-プロモーションを拡充させ、より充実した情報提供活動を行ってまいります。海外事業においては、生薬プラットフォームにおける原料生薬、飲片(刻み生薬)の販売拡大とともに、中成薬事業展開の基盤づくりを進めてまいります。なお、現時点で新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に見通すことが困難な状況ではありますが、状況に変化が発生した場合には適時・適切な開示を実施いたします。

当社は、今後も、社員やお得意先、お取引先の皆様等の安全を最優先に感染拡大防止に努め、政府の方針や行動計画に基づき対応方針を決定すると共に、適切な事業継続を図ってまいります。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
翌連結会計年度 2022年3月期 (調整後増減率)	122,500 (5.2%)	19,500 (0.6%)	20,000 (△4.2%)	14,200 (△7.4%)

(注) 調整後増減率は、当社グループの当連結会計年度(2021年3月期)を「収益認識に関する会計基準」等を用いたと仮定して算出した数値に合わせて2022年3月期の業績予測と比較した増減率であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸事情を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,957	61,310
受取手形及び売掛金	47,161	48,623
商品及び製品	10,924	13,939
仕掛品	12,418	13,396
原材料及び貯蔵品	52,463	53,419
その他	12,071	13,637
貸倒引当金	△22	△53
流動資産合計	196,973	204,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	68,672	74,533
機械装置及び運搬具	52,085	61,483
工具、器具及び備品	11,266	12,294
土地	9,051	9,051
建設仮勘定	18,748	13,923
その他	458	499
減価償却累計額	△83,076	△87,609
有形固定資産合計	77,207	84,176
無形固定資産		
のれん	8,222	7,881
その他	3,381	3,561
無形固定資産合計	11,604	11,443
投資その他の資産		
投資有価証券	10,750	11,445
退職給付に係る資産	1,213	2,252
繰延税金資産	755	500
その他	13,485	4,972
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	26,204	19,170
固定資産合計	115,017	114,789
資産合計	311,990	319,063

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,128	8,593
短期借入金	22,874	10,472
1年内返済予定の長期借入金	—	12,380
未払金	5,874	5,607
未払法人税等	3,607	4,057
返品調整引当金	10	12
その他	5,982	7,256
流動負債合計	48,476	48,380
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	12,394	—
繰延税金負債	0	231
再評価に係る繰延税金負債	1,179	1,179
退職給付に係る負債	72	61
その他	5,869	6,041
固定負債合計	49,516	37,513
負債合計	97,993	85,894
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,142	30,142
資本剰余金	14,041	13,789
利益剰余金	158,610	168,989
自己株式	△678	△679
株主資本合計	202,116	212,241
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,767	3,180
繰延ヘッジ損益	87	1,233
土地再評価差額金	2,673	2,673
為替換算調整勘定	△1,318	△1,130
退職給付に係る調整累計額	△949	△412
その他の包括利益累計額合計	3,260	5,544
非支配株主持分	8,619	15,382
純資産合計	213,997	233,169
負債純資産合計	311,990	319,063

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	123,248	130,883
売上原価	50,747	55,951
売上総利益	72,500	74,931
販売費及び一般管理費	53,623	55,548
営業利益	18,876	19,382
営業外収益		
受取利息	573	474
受取配当金	253	250
持分法による投資利益	96	115
為替差益	—	366
補助金収入	97	285
その他	303	309
営業外収益合計	1,325	1,801
営業外費用		
支払利息	142	286
為替差損	254	—
その他	155	31
営業外費用合計	552	318
経常利益	19,649	20,866
特別利益		
固定資産売却益	5	0
投資有価証券売却益	339	4
特別利益合計	344	5
特別損失		
固定資産売却損	1	0
固定資産除却損	50	413
投資有価証券売却損	19	—
投資有価証券評価損	267	—
関係会社出資金評価損	431	—
特別損失合計	770	414
税金等調整前当期純利益	19,223	20,456
法人税、住民税及び事業税	5,611	6,235
法人税等調整額	△344	△519
法人税等合計	5,266	5,715
当期純利益	13,956	14,741
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	191	△591
親会社株主に帰属する当期純利益	13,765	15,332

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	13,956	14,741
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,930	412
繰延ヘッジ損益	△652	1,146
為替換算調整勘定	△1,078	541
退職給付に係る調整額	△872	536
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	2
その他の包括利益合計	△5,541	2,640
包括利益	8,415	17,381
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	8,304	17,616
非支配株主に係る包括利益	110	△235

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	14,027	149,740	△815	193,095
当期変動額					
剰余金の配当			△4,894		△4,894
親会社株主に帰属する当期純利益			13,765		13,765
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		13		138	152
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	13	8,870	137	9,021
当期末残高	30,142	14,041	158,610	△678	202,116

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,697	740	2,673	△313	△76	8,721	4,324	206,141
当期変動額								
剰余金の配当								△4,894
親会社株主に帰属する当期純利益								13,765
自己株式の取得								△0
自己株式の処分								152
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減							3,504	3,504
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△2,930	△652	—	△1,004	△872	△5,460	790	△4,670
当期変動額合計	△2,930	△652	—	△1,004	△872	△5,460	4,294	7,855
当期末残高	2,767	87	2,673	△1,318	△949	3,260	8,619	213,997

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,142	14,041	158,610	△678	202,116
当期変動額					
剰余金の配当			△4,896		△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益			15,332		15,332
連結範囲の変動			△57		△57
自己株式の取得				△1	△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		△252			△252
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減					-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	△252	10,378	△1	10,124
当期末残高	30,142	13,789	168,989	△679	212,241

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,767	87	2,673	△1,318	△949	3,260	8,619	213,997
当期変動額								
剰余金の配当								△4,896
親会社株主に帰属する当期純利益								15,332
連結範囲の変動								△57
自己株式の取得								△1
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								△252
連結子会社の増加による非支配株主持分の増減							7,567	7,567
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	412	1,146	-	187	536	2,283	△803	1,479
当期変動額合計	412	1,146	-	187	536	2,283	6,763	19,171
当期末残高	3,180	1,233	2,673	△1,130	△412	5,544	15,382	233,169

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	19,223	20,456
減価償却費	6,406	8,210
のれん償却額	—	405
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	31
受取利息及び受取配当金	△827	△724
支払利息	142	286
持分法による投資損益(△は益)	△96	△115
有形固定資産除売却損益(△は益)	47	413
関係会社出資金評価損	431	—
売上債権の増減額(△は増加)	△866	△1,408
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,930	△4,515
仕入債務の増減額(△は減少)	134	△1,612
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△319	△4
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	267	—
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△552	△281
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	13	5
その他	1,233	127
小計	21,307	21,275
利息及び配当金の受取額	1,164	878
利息の支払額	△141	△275
法人税等の支払額	△4,138	△5,775
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,191	16,102
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	11,558	2,631
有形固定資産の取得による支出	△10,007	△8,949
有形固定資産の売却による収入	6	1
無形固定資産の取得による支出	△545	△467
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△39,826	△24,453
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	40,560	24,465
子会社出資金の取得による支出	△4,226	△451
連結の範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	△17,891	—
貸付けによる支出	△3,001	△156
貸付金の回収による収入	3	2
その他	△117	26
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,488	△7,352
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	11,304	1,857
短期借入金の返済による支出	—	△14,086
非支配株主からの払込みによる収入	816	7,567
配当金の支払額	△4,897	△4,896
非支配株主への配当金の支払額	△56	△49
連結の範囲の変更を伴わない子会社出資金の取得による支出	—	△760
その他	△54	△56
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,111	△10,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△366	131
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,448	△1,543
現金及び現金同等物の期首残高	56,243	57,692
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	3,519
現金及び現金同等物の期末残高	57,692	59,668

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、当連結会計年度において、津村盛実製薬有限公司は、重要性が増したため連結の範囲に含めております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な会計処理の確定

2020年3月30日に行われた天津盛実百草中薬科技有限公司(2020年8月より平安津村薬業有限公司に社名変更)及びその子会社5社との企業結合について前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

これに伴い、前連結会計年度の連結財務諸表において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、製品に586百万円、原材料及び貯蔵品に1,910百万円、流動資産その他に188百万円、無形固定資産その他(顧客関連資産)に423百万円、無形固定資産その他(技術資産)に1,632百万円、非支配株主持分に948百万円配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額12,016百万円は、3,793百万円減少し、8,222百万円となっております。

(セグメント情報)

当社グループは医薬品事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,684.38円	2,846.58円
1株当たり当期純利益金額	179.96円	200.40円

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式がないため記載しておりません。

2 前連結会計年度の1株当たり純資産額は、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により算定しております。

3 算定上の基礎

(1) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	213,997	233,169
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	8,619	15,382
(うち非支配株主持分(百万円))	(8,619)	(15,382)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	205,377	217,786
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	76,508	76,507

(2) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	13,765	15,332
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	13,765	15,332
普通株式の期中平均株式数(千株)	76,488	76,508

(重要な後発事象)

該当事項はありません。